

1  $p, q$  を 0 でない二つの実定数とし,  $A = \begin{pmatrix} 0 & 1 \\ -pq & p+q \end{pmatrix}$  とおく.  $A$  で表される座標平面上の 1 次変換を  $T$  で表す.

- a)  $\vec{f}_1 = \begin{pmatrix} 1 \\ p \end{pmatrix}, \vec{f}_2 = \begin{pmatrix} 1 \\ q \end{pmatrix}$  とする.  $\vec{f}_1, \vec{f}_2$  が 1 次独立となるための必要十分条件を求めよ. 以下の問では  $\vec{f}_1, \vec{f}_2$  は 1 次独立であると仮定する.
- b) 任意のベクトル  $\begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix}$  について  $\begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} = X\vec{f}_1 + Y\vec{f}_2$  となる  $X, Y$  を求め,  $\begin{pmatrix} X \\ Y \end{pmatrix} = Q \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix}$  (ただし,  $Q$  は 2 行 2 列の行列) という形に表せ.
- c)  $P = \begin{pmatrix} 1 & 1 \\ p & q \end{pmatrix} = (\vec{f}_1, \vec{f}_2 \text{ を並べてできる行列})$  とおくと,  $Q^{-1} = P$  であることを示せ.
- d)  $X\vec{f}_1 + Y\vec{f}_2$  を  $T$  で移動したベクトル  $T(X\vec{f}_1 + Y\vec{f}_2)$  を  $\vec{f}_1, \vec{f}_2$  を用いて  $T(X\vec{f}_1 + Y\vec{f}_2) = X'\vec{f}_1 + Y'\vec{f}_2$  と表すとき,  $X', Y'$  を求め,  $\begin{pmatrix} X' \\ Y' \end{pmatrix} = B \begin{pmatrix} X \\ Y \end{pmatrix}$  (ただし,  $B$  は 2 行 2 列の行列) という形に表せ.
- e)  $B = P^{-1}AP$  であることを確かめよ.